

「わたしたちの町の紹介リーフレットを編集しよう」

～自分の考えが伝わるように、表現の効果などについて工夫することができる～

B②「目的や意図に応じてリーフレットを編集する」の結果を分析したところ、目的や意図に応じ、必要な内容を書き加えたり、引用したり、複数の内容を関係付けたりしながら編集することに課題があることが分かりました。そこで、本授業アイデア例ではこれらの課題を解決するために、町を紹介するリーフレットの制作過程の中で行う編集会議での留意点や、各段階における具体的な指導事例を構想しました。なお、本授業アイデア例は、第5学年以上を対象にしました。



授業アイデア例

【リーフレットの制作過程】



第1回 編集会議

紹介する相手や目的、方法を検討する

わたしたちの町のよさについて思い浮かぶことを出し合い（ウェビング法など）、リーフレットの割り付けを構想する。その際、以下の観点について協議する。

①紹介する相手と目的

初めて訪れる人に、この町のよさを知ってもらえるようなものにしたいな。



②内容の分担と紙面の構成（割り付け）

リーフレットは3つ折りにしましょう。私は、〇〇について調べるわ。

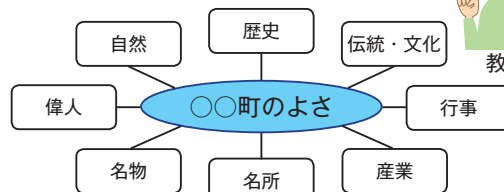


③取材の方法

たとえば、ガイドブック、事典、インターネット、テレビ、施設見学、インタビュー、などといった取材方法があるね。



町のよさについて、思い浮かぶことを下の図のように書いてみましょう。



【実際のリーフレットを参考に、割り付けを構想する】



このリーフレットは、季節ごとのページがあって分かりやすいね。

取材①，記述①

第2回 編集会議

記事の下書きを持ち寄り、リーフレットに書く内容を整理する

記事の下書きを持ち寄り、右に示すワークシートを用いながら、以下の観点について協議する。

④取材して得た内容の妥当性

取材して得た内容が読む人の求める情報としてふさわしいかな。



⑤取材して得た内容の重複

分担をしたけれども、同じ内容や似たような内容を取り上げていないかな。



⑥再取材の必要性

写真があった方が分かりやすいわ。もう一度行って、写真を撮ってこよう。



【第2回編集会議で使用するワークシートの例】

この学習をはじめて（ ） 時間目	
わたしたちの町を しょうかいしよう②	
編集会議で話し合おう②	名前 〇〇太郎 月 日
◎調べ分かったこと、それに対する感想を付けて書きましよう。 調べ分かったこと 〇〇は、昔は城下町として栄え、 現在でもその町並みが残っ ている。 感想 今でも残っている古い町並 みを多くの人に见てもらいた い。	◎自分が必要とするところ、再 取材が必要となる場合はありま す。 町の風景の写真をとる。
◎しきいする相手や目的に ついても一度確認しましよう。 しようかいる相手 ↓はじめて訪れる人 ↓しきいする内容 ↓歴史について ↓町の良さを伝えるため の人に伝えるため	◎それぞれのページで書く内容 を確認しましよう。 1ページ目 ↓歴史について 2ページ目 ↓自然について 3ページ目 ↓担当者・自分 ↓担当者・〇〇く 4ページ目 ↓編集後記
◎友達に担当するところで、気 付いたことなどを確認しましよう。 行業のページでは、郷土料理 のしょうかいもすると良い。	

取材②，記述②

課題の見られた問題の概要と結果

… B② 目的や意図に応じてリーフレットを編集する〈打ち上げ花火の伝統〉

学習指導要領における領域・内容

〔第3学年及び第4学年〕伝国 (1)イ(フ)
〔第5学年及び第6学年〕B ウエオカ

B②一

正答率 64.0%

「打ち上げ花火の歴史」という見出しに合わせて必要な内容を書き加える

B②二

正答率 26.5%

【ずかんの一部】の中から花火師の苦勞が具体的に書かれている内容を引用して書く

B②三

正答率 17.9%

複数の内容を関係付けた上で、自分の考えを具体的に書く

学習指導要領に示されている言語活動例との関連

〔第5学年及び第6学年〕B イ

第3回 編集会議

目的や意図に応じ、推敲する

再取材して集めた情報を基に記述したものを読み合い、書き加えたり、書き直したりする。その際、以下の観点について留意する。

- ⑦目的や意図に即した内容の妥当性
- ⑧取材して得た情報と考えとの区別
- ⑨引用や出典の明記

ポイント!

B②三と関係付けてみました。

読む人のことを考えて、表現の分かりにくいところや説明の足りないところを書き加えよう。



事実と考えを区別するためには、事実の文末を「～である」、考えの文末を「～と思う」など、表現を使い分けよう。

本やインターネットで得た情報には、著作者の権利があり、必要に応じて事前に許可を得ることも大事です。引用をするときには、著作者名と出典を明記しましょう。



事実と考えを区別して、条件に合わせて書く

歴史

【事実】

・ かつては、城下町として栄えた。

【考え】

・ 歴史ある町並みが今でも残っているとあるね。

地理

【事実】

・ 町には、大きな川が流れている。

【考え】

・ 豊富な水のおかげで、町は発展してきたんだな。

【事実】

・ 夏には伝統的な灯ろう流しが行われる。

【考え】

・ この伝統的な行事は今後も続いてほしい。

《条件》取材して得た情報を理由や根拠として、自分の考えを明確にして文章を書く。(150字以内)

【文章の例】ぼくの住んでいる町は、かつては城下町として栄え、多くの人が暮らす町として発展してきました。町には大きな川が流れていて、人々に生活用水を供給しています。この川では、夏になると伝統的な灯ろう流しの行事が行われます。このような自然と伝統の残る美しい町を、これからも大切にしたいと考えます。(141字)

【文章の例】を参考に編集後記を書いてみました。

第4回 編集会議

リーフレット全体を関係付けて、編集後記にまとめる

記述した内容を踏まえ、リーフレットを仕上げていく。その際、目的や意図に応じ、各部分を関係付けて記述する。

- ⑩編集後記には、取材して得た情報と考えを区別してまとめる

【わたしたちの町の紹介リーフレットの例】

編集後記には調査して得た複数の情報を関係付けると、ぼくたちの伝えたい町のよさが、読む人に明確に伝わるね。



完成！交流！

本授業アイデア例 活用のポイント

- 本授業アイデア例は、特別活動や総合的な学習の時間などでも活用することができます。

歴史

政治・経済の中心 盛岡

1597年、盛岡に盛岡城が築かれ、城下町として栄え、町が整備され、領内の金・馬・海産物を得て、政治・経済の中心地として栄え、明治維新により、南部藩は盛岡県となり、盛岡へと変遷しました。

歴史文化館は盛岡の歴史と文化に関する資料を展示するとともに、町中の情報を提供しています。2階は歴史学習展示室として、盛岡の歴史や文化を知ることができます。城下町成立の背景や城下町などを展示しています。

盛岡は、江戸時代の戦初頃から発展していき、かなり昔から栄えていたことがわかりました。歴史文化館では、盛岡の繁栄のことがよくわかるので、来たいです。

地理

豊かな自然 盛岡

岩手県の内陸中心部に位置し、市内を北上川、中津川などが流れています。市内からは岩手山、駒ヶ岳など、市外に所在する山々も仰ぐことができます。市内には、低く山々が組み織り地帯を形成しています。

「岩手山と北上川」 盛岡の自然は、岩手山と北上川が、岩手県は太平洋側気候だが、岩手県と内陸部とは異なる。内陸は夏は暑く、冬は寒く、雪の多い地域です。冬は寒く、雪の多い地域です。冬は寒く、雪の多い地域です。

盛岡は、本州の県庁所在地の中でいちばん寒いところだといわれています。市外にある山々も仰ぐことができます。市外にある山々も仰ぐことができます。市外にある山々も仰ぐことができます。

行楽

見て・学んで・楽しむ 盛岡!

町の中心部にあつた場所。岩手公園です。岩手公園は、自然の中で遊ぶことができます。歴史を学ぶこともできます。また、盛岡市の周辺には、火山の熱を利用した林や温泉があります。

さんざん里の起源は、「三ッ石伝説」に由来しています。いまでは、かり夏のイベントとして定着しました。迫り満ちた太鼓と軽やかな笛の音に合わせ、踊る盛岡の夏の風物詩です。

盛岡市の自然と歴史を学ぶ場所。自然と歴史を学ぶ場所。自然と歴史を学ぶ場所。自然と歴史を学ぶ場所。自然と歴史を学ぶ場所。

編集後記

ぼくの住んでいる盛岡市は岩手県の内陸中心部に位置し、市内を北上川、中津川などが流れていて、人々に生活用水を供給しています。1597年の盛岡城築城に始まり、政治・経済の中心地として栄え、明治維新により、南部藩は盛岡県となり、盛岡へと変遷しました。現在、町の開発がすすみ、岩手山や駒ヶ岳など、市外に所在する山々も仰ぐことができます。市内には、低く山々が組み織り地帯を形成しています。盛岡の自然は、岩手山と北上川が、岩手県は太平洋側気候だが、岩手県と内陸部とは異なる。内陸は夏は暑く、冬は寒く、雪の多い地域です。冬は寒く、雪の多い地域です。冬は寒く、雪の多い地域です。